

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年6月13日

もてぎカートレース第3戦

SSクラス(参加9台)

ツインリンクもてぎ北ショートコース

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 田口 剛(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 1位 (41.808)

予選 7位

決勝 8位 (DNF)

◆シリーズランキング

2位 (29ポイント)

第3戦終了時点

★今大会に向けて

前回は最後にヘマをして優勝を逃しているの、最後まで集中力を切らさないように意識して挑みました。

前日の走行では マシンの調子もタイム的にもまずまず。

開幕戦からトップ争いしている面々(バーミヤン選手、高田ジャパネット選手)もほぼ同じペースなので

またしても明日は混戦したレースが予想されます。

とにかく、もてぎはタイムだけでは勝てない。何か+αが必要であり、

どうすればレースで有利に立てるのかをひたすら考えて前日は走行しました。

TT

ここ一発でしっかり集中してタイムを出す事ができPPをGET

2番、3番には開幕戦からお馴染みの顔が続く。早くも火花が散っている様相

予選

ホールショットはトップで通過したが、すぐ後ろにはバーミヤン選手がビタ付け状況。

3番手高田選手はタイヤがパンクしたのかペースが上がってこない。序盤はTOP2台で突き放す展開になる。

しかし、対バーミヤン選手とのチーム員同士の激しいガチンコ勝負が始まる。どちらも全く譲るつもり無し。

ファイナルラップ、我先にと飛び込んだ複合コーナーで2台のマシンがヒットしクラッシュ。

まるでF-1トルコGPでのベッテル/ウェーバーを思わせる戦い振りを演じ、チームに取っては最悪な予選となってしまった。

予選後、加藤代表にこっぴどく叱られた事は言うまでも無い。

決勝

後方からのスタートを余儀なくされたが、イン側スタートの利点を生かし序盤で3番手まで浮上する。

前ではTOPを走る高田選手を足立マン選手がパスする奮闘を見せており、おお足立マンなかなかやるな~と思ったが

それもつかの間、高田選手が足立選手をパスしたところを自分も入り2番手へ浮上。

そこからは、高田選手とTOPを賭けたバトルが繰り広げられる事になる。それにしてもトップに立つとペースが上がらず

いとも簡単に抜かれてしまう。悔しい。後から振り返ると、冷静さを失っていたと思います。

向えたラスト2周の6コーナー。高田選手のパッシングに対しOUT側で頑張り過ぎてしまいマシンがヒット。

その衝撃でチェーンが切れリタイヤ。最も最悪な形でレースを終えてしまう事になってしまう。

★レースを終えて

レースをする上で、冷静さを欠いたらオシマイだと思いました。

シリーズを戦う上での大事なポイントを逃してしまった事は 大変痛いです。

メカニックの田口さん、チームエッフェガーラの皆さんをはじめ、応援して下さいました方々、暑い中DVDを撮影して下さいました小曽戸ファミリーには大変申し訳無い気持ちでいっぱいです。

今回の悔しさを大きなバネにして 次回では成長した自分をお見せできるように頑張ります。